

会報

1月号

ワイズメンズ国際協会・東日本区・富士山部

下田ワイズメンズクラブ

第37期 (2016-17年度)



CHARTERED
June 10, 1980

下田クラブ会長主題 『継続』
 【国際会長主題】 "Our Future Begins Today"
 【アジア地域会長主題】 "Respect Y's Movement"
 【東日本区理事主題】 『明日に向かって、今日動こう』
 【富士山部部長主題】 『富士山のように大きな心で奉仕をしよう』

今月の強調月間テーマ 『IBC/D BC』
 IBC= International Brother Clubs 国際兄弟クラブ
 DBC= Domestic Brother Clubs 国内兄弟クラブ
 DBCは、札幌北クラブ(東日本区)、四日市クラブ(西日本区)
 IBCは、PAGODA (SOUL C.C) KOREA

会長：長田 俊児
 副会長：池谷 淳
 直前会長：長田 俊児
 書記：清野 大樹
 会計：土屋 儀忠
 監事：土屋 誠
 監事：佐々木 眞澄
 例会日 毎月第三水曜日

第430回 1月例会・新年会 プログラム

日時：2017年1月18日(水) 18:00~21:00

場所：下田バイクロシオ (0558-27-2111)

受付：臼井 啓太郎 Y's

土屋 儀忠 Y's

司会：土屋 誠 Y's

- 開会点鐘 長田 俊児 会長
- 開会の言葉 佐々木 眞澄 Y's
- ワイズソング 一同
- ワイズの信条 清野 大樹 Y's
- 会長挨拶(ゲスト・ビジターご紹介) 長田 俊児 会長
- 書記&委員会報告 書記&各委員会
- 富士山部長挨拶 増田 隆 部長
- 食前の感謝 池谷 淳 Y's
- 会食 全員
- 誕生日&結婚記念日祝い 親睦委員会
- スマイル 親睦委員会
- 出席率報告 プロ・ドラ委員会
- スマイル報告 親睦委員会
- 閉会の言葉 土屋 恒夫 Y's
- 閉会点鐘 長田 俊児 会長

今月の聖句

知恵は真珠よりも得難い。

The price of wisdom is above pearls.

旧約聖書「ヨブ記」・28章 18節

知恵とは神の知恵を指す。神の戒めを守る義人ヨブが友人に言ったことは 土屋恒夫 Y's 選

12月例会出席報告

在籍者	10名	ビジター	3名
内休会会員	2名	ゲスト	7名
正会員数	8名	メネット・コメント	11名
出席者	7名	出席者総数	28名
出席率	88%		
11月 メイキャップ 0名		修正出席率 %	

12月スマイル	15,000円	プルタブ累計	1.4kg
スマイル累計	80,000円	キャップ累計	18.6kg

1月 Happy Birthday

長田俊児 Y's(21日)、佐々木眞澄 Y's(23日)

佐々木はる子メネット(17日)、清野大樹 Y's(31日)

1月 Wedding Anniversary

会員にはおりません

The Y's Men's Club of Shimoda

THE SERVICE CLUB OF YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS

事務局：〒415-0013 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂 3-71
 (長田俊児会長宅) ☎ 0558-62-2840

第37期会報委員会：委員長：清野大樹(☎ 090-2798-4529)、
 副委員長：池谷淳、委員：土屋恒夫

青山学院箱根駅伝3連覇に思う

(青少年CS委員長)土屋 恒夫

青山学院大学は第93回東京箱根間往復大学駅伝大会で、(1)3年続けて往路復路を制する、3年連続3度目の総合優勝を果たした。これは戦後初(80年振り)の快挙である。さらに(2)出雲選抜・全日本大会・箱根と合わせ大学駅伝3冠(史上4校目)に輝いた。(1)(2)の同時達成は史上初となる。

(1) 3年前の新聞投稿より

2015年のV1の際、私の投書が静岡新聞に掲載された。それは以下の様なものだった。(加筆・変更あり)

経験生かした指導で初優勝

テレビにかじりついて箱根駅伝を応援した。後続に大差をつけ、トップでゴールテープを切ったのは青山学院大だった。往路も復路も1位、歴代最速の堂々たる初優勝だ。「走っていて楽しかった。自然に笑っていた。」とコメントした同校ランナーに注目したい。そう言えば襷(たすき)を渡し終えると同時に倒れ込む場面も見られなかった。快進撃の要因は“ワクワク大作戦”という柔軟な目標を掲げ、選手のやる気を巧みに演出する原晋(すすむ)監督のしたたかな指導力とキャラクターにあった。

広島県世羅高・中京大陸上部出身の彼は箱根駅伝とは無縁で、監督経験もなし。同駅伝常連校のOB監督が君臨する中では外様大名も同然だ。だが彼には『伝説の営業マン』として名を馳せたサラリーマン生活で身につけたノウハウがあった。それを駅伝に転化させたのである。

イソップ寓話「北風と太陽」に例えれば、いつかは行きづまる北風のような強引なやり方でなく、学生達の心を大切にする太陽のような方法を選んだのだ。決して慢心することなく、来年も箱根路に爽やかな旋風を巻き起こして欲しい。

(2) 指揮官は“大学の神”

長年箱根不出場が続き、他校のグラウンドを間借りして練習していた青学大。いわば駅伝弱小校がこれ程安定感のある強豪チームに成長したのは驚異的だ。全ては13年前大学側の招聘に応じ、根気強く指導してくれた原晋監督のおかげである。青山学院と原監督の関係は相思相愛と言ってよい。オープンで明るい青学の校風と懐(ふところ)が大きく、diversity(多様性)を受け入れる指揮官の人柄がうまくマッチしたのだ。もしこれが他の大学だったら果たしてどうであっただろうか。

青山学院にはキリスト教信仰に基づき、聖句“地の塩・世の光”をスクールモットーとするリベラルな教育方針がある。チームを救い、一躍学校のbrandを高めてくれた原監督はイエス・キリストに並ぶ救世主である。現在創立150周年に向かって進む青山学院。この歓喜のnewsがスポーツだけでなく大学本来のacademicな部門でも飛躍のstepとなって欲しいものだ。

(3) アイディア満載の現代的・合理的指導

陸上界の異端児を自認する原監督。その指導に押し付けや叱責はない。刻苦勉励をもいとわぬ旧態依然としたやり方ではなく、体幹強化を狙った科学的トレーニングを取り入れる。「スポーツは楽しくあるべきもの」との主張は訪米の指導者を思わせる。選手寮の生活改善を計り、掃除は上下級生が一緒になって行う。at randomにグループを編成。それぞれの課題について話し合いをさせる。コミュニケーション能力を培(つちか)うのが目的だ。自主性を重視し、選手に目標設定(達成)ノートを作成させる等planningも多彩。いつも選手firstだ。教え子達には「与えられるのではなく、勝ち取ることが大事」と説く。

1964年の東京五輪大会。全日本女子バレーの大松監督は“俺に着いて来い”のスパルタ特訓で東洋の魔女を優勝に導いた。あの頃を思うとまさに隔世の感がある。いつの世にも時代に合った指導の形があるということを感じ知らされる。

(4) コツは「教える」より「引き出す」こと

教育を英語ではeducationという。その語源“educere”はラテン語で「導き出す、引き出す」の意味である。指導者の役割は教えるのではなく、「一人一人の潜在的な能力を引き出す(lead out)こと」と言うことになる。leader(リーダー)と言う英単語はこのlead outから出ている。チーム及び個人の状態をよく把握、適切なアドバイスを送ってその力を発揮させる原監督は優れたleaderだ。

箱根の頂点を極めた青学大主力選手の次なる目標は、マラソンとオリンピックで世界に挑戦することだと聞く。2020年に再び開催される東京五輪。私の期待は一段と膨らむ。彼らの活躍を信じて大声援を送るつもりだ。

A heartfelt thank you to my dear Aoyama Gakuin University!

2017.1.9(成人の日)

12月 例会・クリスマス家族会 報告

12月21日(水)、いつもより30分早く6時から 下田ベイクロシオで開催した。今回はクリスマス家族会とあつてかつてないほどたくさんの人に来ていただいた。

伊東クラブから飯島唯志会長、牛田俊夫副書記、堀口正作親睦委員の3名。金指幸春すぎのこ作業所理事長、長田敏江メネット、土屋成子メネット、佐々木はる子メネット、佐々木眞澄コメット まさな・ホイットニー、ジームス・ホイットニーご夫妻とそのお子さんジームスジュニア・ホイットニーさんとジュリー・ホイットニーさん達。櫻井宏会員と彼のコメント佐藤由美さんと佐藤義和さん、マゴメットの佐藤伴哉さんと佐藤陽子さん。奥居邦保会員。土屋成子メネットの友人平田紀久子さん、鈴木なか江さん、飯田 ゆう子さん、椛本悦子さん総勢28名

司会は清野 Y's、会長の開会点鐘後、佐々木眞澄 Y's の今年最後の例会を素早くすすめるという開会言葉で始まり、ワイズソングを全員で合唱し、ワイズの信条を土屋恒夫 Y's が読み上げた。

会長挨拶で、大勢の人に参加して頂いたことに対して謝辞を述べ、宇宙船から地球を映すライブ映像がインターネットで見えるので、天気良ければ正月の初日の出を宇宙から拝めます、ぜひどうぞ。ゲスト・ビジター紹介では本クラブの会員を含めて全員の紹介があった。

報告: 書記/2月までの行事・連絡事項の報告 / 土屋恒夫青少年 CS 委員長から英語スピーチコンテストの結果とバサラ峠の桜木への堆肥施しについて報告があった。

クリスマス家族会に移り、臼井啓太郎 Y's が司会を執る。初めに、すぎのこ作業所に些少の献金を贈った。金刺理事長が謝辞を述べ、施設の規模や状況を説明され、乳酸発酵「竹パウダー」を全員に配った。これは、土壌が元気に、野菜も果樹も美味しく育ち、観葉植物にも使えます。

土屋儀忠 Y's が食前の感謝と乾杯をしてクリスマス会が始まる。ポリュームのある美味しい食事を懇談しながら頂く。

アトラクションはまずオークション、正月用の食品やお花などがかけられ、競い合って競り落とされた。また受付で購入した抽選券の抽選会では、1等賞の豪華賞品から5等賞、残念賞の空クジなしで盛り上がった。

誕生日祝い

伊東クラブ飯島会長。まだ独身。おめでとうございます。

結婚記念祝い おりませんでした。

スマイルを沢山いただきました。出席率報告の後、臼井啓太郎 Y's が閉会の言葉を述べ、会長の閉会点鐘で盛り上がったクリスマス家族会もお開きとなった。



挨拶する長田会長



すぎのこ作業所に些少の献金を贈り、挨拶する金刺理事長



第2回 富士山部役員会・評議会

1月15日(日) 富士市樟泉閣において標記会議が開催されました。そこにおいて、報告あるいは決まった事項のいくつかを以下に示します。

- ・ 半年報の速報が示され、各クラブ会員数が報告された。過去のデータを含めて下表に示す。

富士山部各クラブ 会員数

クラブ名	2017 1/1	2016 7/1	2016 1/1	2015 1/1	2014 1/1
熱海	40	40	42	43	44
沼津	17	18	20	19	19
伊東	28	27	26	26	27
三島	13	12	15	15	16
下田	8	8	9	11	11
熱海G	20	22	25	25	29
御殿場	25	25	24	23	23
富士	20	19	20	20	20
富士宮	19	19	19	20	20
合計	190	190	200	202	209

- ・ 各クラブのCS活動に対するCS基金の交付金額が決まりました。以下の通りです。

熱海	¥40,000	熱海G	¥30,000
沼津	¥50,000	御殿場	¥20,000
伊東	¥50,000	富士	¥20,000
三島	¥30,000	富士宮	¥50,000
下田	¥30,000		

- ・ 「東日本区20周年記念誌」編集委員が決まりました。
- ・ 「第20回東日本区大会」(川越)6月3日(土)~4日(日)の登録費は、メン16,000円、メネット15,000円、コメント(小学生)5,000円となります。
- ・ ヤングメンバー(39歳以下)に対する東日本区大会登録費は半額補助されます。

富士山部クラブ・YMCA・東日本区行事予定

- ・ 2/4(土)5(日)第2回東西日本区交流会 東山荘
- ・ 2/13(月)伊東クラブ例会 2月例会
- ・ 2/18(土)沼津クラブ 50周年記念例会

他クラブ等訪問

- ・ 12/23(金)伊東クラブ 12月例会&クリスマス家族会
参加者:長田俊児 Y's, 清野大樹 Y's
- ・ 1/9(月)伊東クラブ 1月例会&新年会
参加者:土屋 誠 Y's, 臼井啓太郎 Y's
- ・ 1/15(日)富士山部 第2回役員会・評議会 /沼津 樟泉閣
参加者:長田俊児会長

下田クラブ連絡

- ・ 部費、区費、YVRF 献金、各種献金(TOF, CS, BF, ASF, RBM, YES, FF)は2/15までに納入する。
- ・ 後期会費が未納の会員は2/15までに会計に納めて下さい。
- ・ 3月は、子供箏曲体験教室、夜桜懇親会、風の花祭りなどのイベントがあります。皆で協力し成功させましょう。

第431回 2月 例会 予定

日時: 2月15日(水) 18:30~21:00

場所: 未定

プログラム担当 予定者

受付	土屋 誠 Y's
司会	佐々木真澄 Y's
開会の言葉	清野大樹 Y's
ワイズの信条	池谷 淳 Y's
食前の感謝	土屋 恒夫 Y's
閉会の言葉	土屋 儀忠 Y's

第8回 2月 役員会・運営委員会 案内

日時: 2月2日(木) 早くなったので注意

場所: 下田市民文化会館会議室

役員会	18:30 ~ 19:30
運営委員会	19:30 ~ 21:00